

## 研修ノート 2019 年版

### I 外来業務

#### ① 週間スケジュール…資料 1

リウマチ：新患・再来：1 枠 / 週、担当医の外来：2 枠 / 週、  
リハビリ 1 枠（朝） / 週 — 計画書のみ

#### ② 手術日：（火）全麻 手、一般（水）一般、第 2 水曜のみ全麻酔、（木）一般

#### ③ 回診日：（月）13：15—総回診（4c、3c 病棟）、（金）13：30—ケースカンファレンス（医局会議室）、平日毎朝（創処置など）

### II 入院業務

#### ① 複主治医制を基本とする

リウマチ→複主治医：石川（A）ローテーション / 3 カ月、伊藤（B）

整形外科疾患→単独主治医

主治医交代：内科治療が主になった場合速やかに主治医交代（内科医に）、逆に内科患者が外科治療が主となった場合交代する（整形外科医に）

#### ② 入院時手続き

- ・ 予約入院→所定の手続きをとる（電子カルテ画面より入院決定）
- ・ 緊急入院、即日入院→同様の入院手続きをとる
- ・ 画面チェックと書類の山！！

#### 手術入院時指示—(電子カルテ)

（クリニカルパス：担当 Dr.阿部、回復期リハ病棟の適否）含む。

\* 検査（採血、感染症（HIV 含）、血型、胸部 X-P、ECG、呼吸機能、Ccr、DEXA、胸部 HRCT、骨 関節 XP、CT、腹部エコー etc）—電子カルテ 関節エコー  
担当 Dr.阿部

\* 入院診療計画書、褥瘡対策診療計画書—（電子カルテ）

\* 栄養スクリーニング・計画書—（紙使用）

\* 手術依頼、輸血依頼（電子カルテ）

\* 内科復券（胃内視鏡、下肢静脈エコーなども）—電子カルテ

\* リハ復券—（電子カルテ、退院指導チェック、上下肢関節機能、足底圧）

\* 必要時指示—（電子カルテ）

\* 感染性疾患検査説明と同意書—（紙使用）

\* 手術依頼同意書、輸血依頼同意書、—（紙使用）

#### リウマチ入院（手術なし）

\* 手術入院時指示 から手術、輸血、血型を除く

\* 骨シンチ、MR I， など要すれば申込

### III 手術

- ・ 主治医、副主治医が麻酔、手術、術前・術後指示を行う。
- ・ 手術申し込みは、画面と前週(木)午前中、までに医局ボードに記入

- ・ 術前検討会（月）にかけること 高齢者、内科合併症がある場合、必ず内科の復券・診察を受けること
- ・ 術前準備：手術依頼同意書-紙、輸血依頼同意書-紙、RCC、自己血貯血指示表-紙、手術依頼—決定画面、施術関節機能評価（ファイルヘスキャナ取り込み）
- ・ TKA、THA、TEA、Toe plasty …2～3 例は助手で、その後執刀、Hand 手術は Dr 石川の指導下、整形一般手術は即執刀
- ・ 麻酔：全麻は Dr. 柏木（毎週火曜、第 2 水曜）新発田病院の麻酔科との連携なし、全麻（イソフルレン・セボフルレン）、腰麻（マーカイン）、静脈麻酔（ディプリバン）、持続硬膜外チューブ（抗凝固治療中患者禁）、IVPCA と硬膜外 PCA
- ・ 術後：手術記録簿記載（手術室にある）、手術終了時手術内容、手術点数（診療報酬）、助手（とくに助勤者）、画面入力
- ・ 手術記録作成（ファイルヘスキャナ取り込み）
- ・ 術後指示（クリニカルパス画面、汎用指示）
- ・ リハビリオーダー（追加オーダー）
- ・ クリニカルパス（THA,TKA,TEA,Toe plasty, 手関節固定, 手指スワンソンあり）

#### IV リハビリテーション

- ・ リハ外来—しばらくなし、週 1 回の計画書の説明のみ
- ・ リハオーダーは直接リハビリへ（OT, PT）へオーダー入力
- ・ リハビリテーション総合実施計画書作成・リハメイト画面（パソコンにて）1 回 / 月
- ・ MSW 指示—指示コメント入力あるいは直接 MSW へ TEL
- ・ 回復期リハ病棟オーダー：下肢の手術 術後 2 週間後、bDMARD 非使用、落ち着いたら速やかに同意書とり転棟

#### V RA Meeting

- ・ 毎週月曜 午後 6:00～
- ・ 内容：RA・整形術前検討、RA 術後検討、bDMARD 導入症例検討、RA 新患（先週火曜～今週月曜）、RA 問題症例、抄読会、学会予行（1 週間前）、連絡事項

#### VI レセプト対応（診療報酬）

- ・ 1 回 / 毎月主治医がレセプトを点検；医療クラークの照会に対応
- ・ 保険診療マニュアル（県発行）
- ・ 保険審査メモ帳

#### VII リウマチ関連の学会、研究会、講演会

- ・ 国内学会（日本リウマチ学会、日本整形外科学会 など）：年数回 出席
- ・ 海外学会（欧州リウマチ学会、米国リウマチ学会など）：年 1 回、出席可能。
- ・ 原則として自分の発表演題があること。
- ・ 研究会、講演会：随時出席